



新型コロナウイルス感染症情報

追加(3回目)接種の集団接種について

町では5月14日(土)、15日(日)、および25日(水)から31日(火)までの期間で追加(3回目)接種の集団接種を実施します。

詳しくはホームページ、予約サイトやコールセンターでご確認ください。

最新情報は
町ホームページを
ご覧ください。



新型コロナワクチン接種 予約フォームはこちら▶



予約方法や詳しい内容はホームページをご覧ください。

利府町新型コロナワクチン接種コールセンター

新型コロナワクチンに関する相談ができます。接種の予約は、接種券がお手元に届いてからになります。

☎0570-047474

午前9時から午後6時まで(土・日曜日、祝日含)

(通話料がかかります)



接種後気になる症状があるときは、 かかりつけ医へ相談してください

ワクチン接種後の副反応についての相談や発熱等の症状がある方は、かかりつけ医等の近隣の医療機関等に電話で相談してください。※かかりつけ医等がない方や相談先がわからない方は、副反応相談センターに相談ください。

新型コロナウイルスワクチン副反応相談センター

- 電話番号 050-3615-6941
- 受付時間 午前8時45分から午後5時15分まで(土・日曜日、祝日含)



発熱など新型コロナウイルス 感染症を疑う症状がある方は

まずはご自身のかかりつけ医等に電話で相談してください。かかりつけの医療機関がない方は(相談先の医療機関がわからない方)下記コールセンターに電話してください。

受診・相談センター(コールセンター)

- 電話番号 022-398-9211
- 受付時間 24時間対応(土・日曜日、祝日含)

新型コロナワクチンに関すること… 問 新型コロナウイルス対策室 ワクチン接種係 ☎356-2125 FAX356-1303



町長コラム

ベア・パル

ハネムーン



アメリカ政治には「ハネムーン期間」という言葉があります。新政権誕生後、その手腕を確認する100日間を指します。由来は新婚期間。正式には「ハニームーン」と発声してhoney(蜂蜜)と月(ムーン)から。古代、男女が結婚の契りを交わして一月30日の間、蜂蜜酒(ミード酒)を作り、滋養のある蜂蜜をこしらえ、子宝を授かるようにすることから始まった人類の最も初期の生活習慣だったとされます。

今、その蜜蜂が世界的に絶滅の危機に直面しています。これは地球の危機であり人類の危機です。なぜならば地球上の悉皆草木、果樹、野菜、果実的野菜など花粉交配の約7割はミツバチなどの昆虫によって行われているからです。故にミツバチは「環境指標生物」として認知され、蜂の減退は我々人類にとって痛手なのです。私があれこれ考え始めたのは、ある養蜂家さんとの出会いによってニホンミツバチのイロハを体験し、その魅力の虜になってからです(その他の思惑もたくさんあるのですが)。

ニホンミツバチはその名前の通り日本人みたいで、巣を探し出す時もみんなで会議をして決め、組織的で、子

育て、門番、花粉集め、外勤など機動的に動き、天敵のオオスズメバチには集団で対抗して、いざという時には命を懸けて戦います。ニホンミツバチは「言葉」を持つと言われています。コミュニケーション能力という意味ですが、鼻が利いて人間のにおいをかぎ分け、甘えてきたりあいさつまでしてきます。性格も、これまた日本人みたいで穏やかで、刺すことはほぼありません。知能が高く猫ほどの知能を持つといわれますが肌感覚では私より知能が高いと思います。

驚くほどおいしい蜜をせっせと作り、その蜂蜜をお土産に相手に渡すと言葉は不要で、ニホンミツバチがいてそれが育つ町なのですね、自然がゆたかですねと理解してくれます。利府町内のニホンミツバチもここ10年で数を減らし状況的には良くはありません。蜂を守る事は地球を守る事です。対森林伐採や土壌汚染とはまた違った自然環境保護となりますが、蜂を媒介として地球とのハネムーン期を取り戻すためのチャレンジをしたいと思います。

ゆたか

利府町長 熊谷 大